

歴史サークル 11月の活動

2018年11月26日(金)

「平城京を巡る」

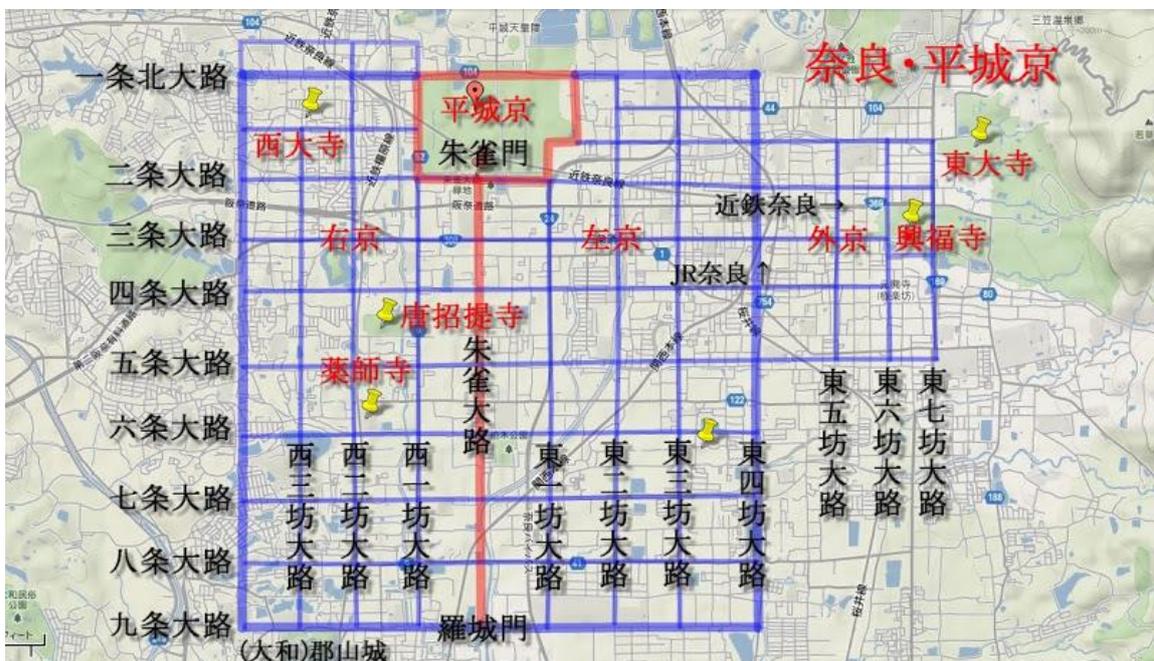
和同3年(710)。飛鳥に近い藤原京(奈良県橿原市)から奈良盆地の北端に新しくつくられた平城京に都が移されました。

唐の長安をモデルにして設計され、南北約5km、東西約6km、都の中央北端には政治の中心となる。「平城宮」が造られました。

平城宮は、約1km四方の広さで、大極殿や朝堂院などの宮殿のほか、天皇の住まいである内裏があり、周囲には国の役所が立ち並んでいました。

そして朱雀門の前、朱雀大路は、都のメインストリートで、幅74mで羅城門まで約3.8km続いています。

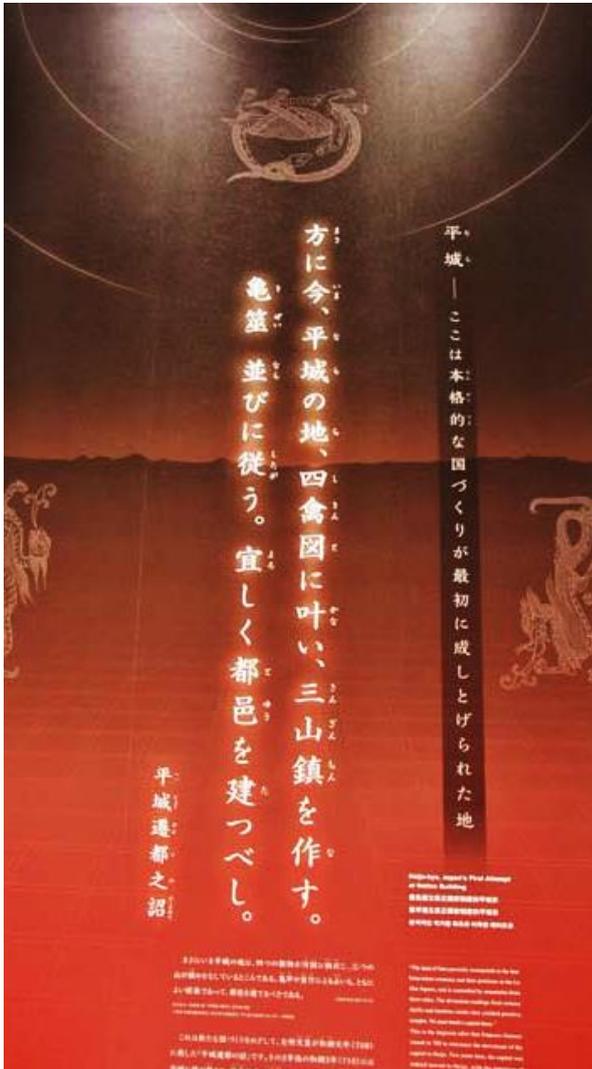
又、東西線の二条大路は、朱雀大路の半分、38m道路で、東大寺へと続いていました。



平城京跡資料館



平城宮いざない館



まさ いま なら ち しきんと かな さんざんちん な
方に今、平城の地、四禽図に叶い、三山鎮を作す。

きぜいなら したが よろ とゆう た
亀筮並びに従う。宜しく都邑を建つべし。

へいじょうせんとのみことのり 平城遷都之 詔

まさ いま なら ち しきんと かな さんざんちん な
まさ^かにいま平城の地は、四^あつの動物が河^お図に相^あ応^うじ、三^しつの山が鎮^しめをなしているところである。

きつこう ぜいちく うらな
亀甲^{きつこう}や筮竹^{ぜいちく}による占^{うらな}いも、ともに良い結果であって、都邑を建てるべきである。

これは新たな国づくりをめざして、元明天皇が和銅元年（708）に発した「平城遷都の詔」です。その2年後の和銅3年（710）には平城に都が移され、律令国家の進展をめざしました。

藤原京で始められた本格的な国づくりは、まさにこの平城京で完成したのです。

平城宮 東院庭園

平城宮の東に張り出した部分「続日本記」に見える「東院」に当たります。
昭和42年、その南東隅に大きな庭園の遺跡が発見され、
平成7年から平成10年にかけて復元されました。



平城宮 第一次大極殿



たかみくら
高御座

